

送付先 地球環境対策課 松下 行
 〒870-8501 大分市大手町3-1-1
 FAX: 097-506-1749(送信票不要)
 E-mail: matsushita-daigo@pref.oita.lg.jp



120万人県民一斉ごみゼロ大行動 実施報告書

団体名	一般社団法人 大分県安全施設業協会		
住所	〒870-0145		
	大分市 乙津 八-八		
担当者氏名	河上 徹治	連絡先 TEL	097-521-6171

実施日	実施場所		参加人数	収集量 (例: 0kg、可燃ごみ45L ごみ袋〇個分)
	市町村	地区名(〇〇公園周辺、県道〇号線でも可)		
H27 8/21	大分市	裏川公園周辺	40	45L 9袋
H27 8/21	日田市	国道212号(日の出交差点 ~ 藤山交差点)	15	45L 10袋
3				
4				
5				

※①4月から8月末に実施した環境美化活動がありましたら、9月11日(金)までにご報告くださいます
 ようお願いします。

②収集量については、わかる範囲でご記入ください。

一般社団法人大分県安全施設業協会ごみゼロ活動（平成27年8月21日）
大分市 裏川公園周辺



大分市 裏川公園周辺



一般社団法人大分県安全施設業協会ごみゼロ活動（平成27年8月21日）
日田市 国道212号(日の出交差点～藤山交差点)



平和市民公園で

「ごみゼロ活動」

県安全施設業協会

県安全施設業協会（河上徹治会長）は21日、県が取り組む「120万人県民一斉ごみゼロ大行動」の関連行事として、大分市の平和市民公園で「ごみゼロ活動」を実施した。

同協会加盟の24事業所から約50人が参加。注意事項を伝達した後、作業を始め、1時間で45以上のごみ袋9袋



注意事項の伝達をする関係者ら

分の空き缶やプラスチックごみなどを拾った。24日に

市公園緑地課などに活動を報告する予定。

同協会の保月孝之監事は「今後は田ノ浦ビーチなどでも清掃活動をしたいと考えている」と話した。



支援協定を結んだ宇佐市と組合関係者は、大変心強うありがとうございます。お礼を述べました。奥田理事長は「地域や社会に貢献出来ることをうれしく思う。今後も組合員とともに力を尽くし、市のために尽力したい」と述べた。

**大分と日田で
ごみゼロ活動**
県安全施設業協会
県安全施設業協会(河上
徹治会長)は21日、大分市
と日田市で「ごみゼロ活
動」をした。



豊川公園にごみ拾

今回は、県の「120万
人県民一斉ごみゼロ大行
進」関連行事として参加。
大分市の豊川公園に集ま
った18社・40人は、公園内の
生垣や川沿いの歩道のごみ
を拾った。日田市では6社
・15人が、国道212号線
の日の出第一交差点・藤山
交差点間の道路沿いのごみ
を拾った。
藤島智彦副会長(道路サ
ービス社長)は「10年前
から環境美化の日(8月1
日)の趣旨に賛同して、奉
仕活動をしている。これか
ら活動を続けたい」と話
した。(吉野)

た。全体用地面積は20畝
で、うち14・5畝を、同社
協力会社の(株)今井製作所
(愛媛県今井幸一社長)が
賃借し、発電所を建設した。
25年11月に着工、造成を三
井造船の関連会社エム・イ
1・エス特機(株)と佐佐木建
設、発電設備を三井造船と
(株)日立製作所が施工した。
三井造船は、すでに大
分事業所敷地内に出力約22
メガワット、玉野事業所(岡山
県)内に約2メガワットの太陽光
発電所を稼働させている。
また、28年3月頃完成を目

とろと大工として活躍して
きた。近年は残念ながらそ
の使命と役割を果たせる機
会が減少しているが、また

指し、大分事業所敷地内の
ゴルフ場跡地でも、約45メ
ワットの太陽光発電所を建設し
ている。
太陽光発電以外では、す
でに工業事業所に、日本最
大級の出力50メガワットのバイオ
マス発電設備と出力1・5
メガワットの風力発電設備、北海
道別海町で出力1・2メガ
ワットのバイオガス発電所が稼働
している。同社は、これ
からも再生可能エネルギー
での発電事業を積極的に進
めたいとしている。(大嶋)

**32億で萩3期
地区事業開始**
大野川上流事務所
大野川上流開発事業事務
所は、27年度から6ヵ年計
画で中山間地域総合整備事
業「萩3期地区」の農業用
排水や農道などの整備を
始める。
同事務所は、国営大野川
上流農業水利事業で築造し
た大懸ダムから供給される
ため、12年度から「萩地
区」、16年度から「竹田西
部地区」、18年度から「萩
2期地区」の畑地かんがい
施設を整備している。
萩3期(馬場、桜町、柏
原の3地区509・1畝)
の整備は、▽農業用排水
整備(かんがい用パイプ
ライン)13キロメートル延長3
万102延米▽農道整備13
路線延長1760延米▽幅員
3・0メートル(全幅員4・0
メートル)▽集落防災安全施設整
備11防火水槽2カ所。
27年度は測量・設計など
で、予算は約1000万
円、工事は28年度からの予
定。総事業費は約31億98
00万円。(吉野)

カバトしている「経営者
が高齢化し、若手技術者が
育たないのが一番の課題」
などの声が聞かれた。

グモの4月号があるの
が目に入った。表紙に「変
わる街中、変わらない老
舗」の大見出し。「ほろ
どの店かいな」と思い
めぐってみた。たぶんその
とき私の目が輝いたはず
だ。大分市の中央通りを接
ぐ、大分銀行本店の真向
かい、中央町十目の「和
風タリルたかきや」が登場
しているではないか。ど
がくひと鳴りそな特上
コースカツ定食の写真が目
を引く。どうして目が輝い
たのか。若い頃は、この店
の数多いメニューで胃袋を
満たしていたので、特別の
思い入れがあるからだ。今
でもときどき店に行くが、
かつて一番人気だったカツ
丼は、「カツとじ丼」に名
を替えているはず。ちゃん
とカツ丼の味を受け継いで
いる。同僚たちもたかきや
(当時は高尾屋)の世話に
なった。内勤の者は、昼も
夜も出勤を頼んだ。運んで
くるのは、現三代目主人の
お父さんで、「高尾屋のお
いちゃん」こと阿部一郎さ
ん。前夜酒が過ぎて、朝お
かゆを注文する者がいた
り、カレーうどんを半人前
頼んだりしたが、こまめに
対応、きちんと出勤してく
れた。今も、近郊の職場の
人たちが婦人のグループ
などのお客さんが多いよう
だ。紹介された老舗はら
軒。こちらも同僚らがよく
出勤を頼んだ。大手町のラ
ーメン店「清陽軒」も登
場。久留米の有名店の、大
分支店として、昭和35年に
開店したとあるが、当時は
一杯60円だったそうだ。ラ
ーメンは今や「国民食」。
海外にもチェーン展開して
いる店も増えている。本紙
も含め、新聞は特定の店な
どはなるべく書かないよう
にしているのだが、食は人
の一番大事な営み。世話に
なった懐かしい店。ついで
がずりましました。(し)

北海道から沖縄までの地域建設
全国建設産業界
PRするな

その他
建設機械
レンタルできます。
D6R
SERIES

41・1212クワ
完備!

増車完了!!